

# 富士市立吉原北中学校

## 体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和6年5月23日(木)



「展示室では本物にふれ、生徒たちはICTで調べたこと以上に感動していました。本物の力はすごいと思いました。」

富士市立吉原北中学校の1年生109人が、望星学習の文化体験として、本物を見て触れる体験を通して、仲間の良さを発見することを目的に、展示室の見学と勾玉作り、火起こしの2つの体験を行いました。

### 展示室の見学

事前学習をしてきたようで、落とし穴や黒曜石、縄文土器など、真剣な表情でメモをとりながら見学していました。見学の時間を長くとれなかったのですが、もう少し見ていたかったという表情の生徒が多く見られました。

「落とし穴の展示がすごいと思った。どうやってとり出したのだろうか？」

「黒曜石が鋭くて、よく切れると思った。」



### 勾玉作り体験

勾玉の形や石のこと、勾玉の歴史などについて簡単に学習した後、石の削り方の説明を聞き、いよいよ紙やすりで石を削っていきます。1時間という短時間での作業でしたが、生徒は集中して削っていました。何とか形を作ることができ、生徒一人ひとりが満足した表情でした。

勾玉に紐を通して首からさげると、うれしそうでした。

「角を削り整形するのが大変だった。昔の人は、やすりがなかったから、石で削るのは大変だったと思う。」

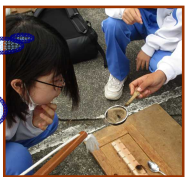


### 火起こし体験

火起こしが初めての生徒や、小学校の時に舞割り法でやったけど着かなかった生徒、弓ぎり法でやって着いた生徒など様々でしたが、どの班も協力して火を起すことができました。やはり、経験者であっても、火が起ると感動していました。

「昨年(小学校でやったとき)はつかなかったけど、今年については良かったです。」

「火がついた瞬間、感動しました。」



### 先生方の感想

「班やクラスで協力している姿が見られ、とても良かったです。展示室では本物にふれ、生徒たちはICTで調べたこと以上に感動していました。本物の力はすごいと思いました。センターの職員さんは、中学1年生にわかりやすくお話し頂いて、とても有難かったです。」

